

社協お知らせ

第5号

平成23年10月1日
内部地区社会福祉協議会広報部

平成23年度後半の行事予定

社協及び傘下の団体が計画している行事は下記の通りです。皆様のご参加をお待ちしています。

平成23年度後半の行事予定	
開催予定日	行事・内容
10月1日(土)	お月見コンサート
10月14日(金)	内部っ子コンサート(内部小学校)
10月16日(日)	町別交流グラウンドゴルフ大会
10月23日(日)	ディキャンプ
11月6日(日)	内部地区文化祭(内部小学校)
11月20日(日)	うつべ スター ウォーキング
12月5日(月)	こままわし祭り
2月5日(日)	五平餅つくり
2月5日(日)	凧揚げ大会
2月19日(日)	うつべ スター スポーツフェスタ
2月26日(日)	グラウンドゴルフ大会(個人戦)

なお各行事の詳細は市民センターお知らせをご覧ください

うつべのホームページづくり
はじめませんか
運営スタッフを
募集しています

経験不問、年齢不問、地域のために活動したい方、パソコンに興味ある方、どなたでも歓迎です。
内部地区ホームページは現在社協広報部ホームページ運営委員5名、日常の更新作業は3名で運営しています。よりよい地区のホームページをつくっていきたいとおもっています。みなさまのご協力をお願いいたします。
お問い合わせは団体事務局へ 347-1224

ホームページへのアクセス <http://www.utsube.jp/> または

内部地区ホームページ

検索

ホームページ ダイジェスト

内部のできごと・うごきいろいろ

内部地区ホームページは地域のいろいろのできごとや市民センターお知らせ、花咲爺さんの自然暦、投稿写真、地区団体の刊行物、など毎週新しい記事を更新しています。

今回のお知らせでは、平成23年1月～8月までのかわら版記事の中からいくつかをえらんでみなさんにお届けします。

夏休み子どもクッキング

平成23年8月1日 2日



JA 三重四日市内部女性部が主催する、夏休み子どもクッキングは例年子ども達に大変人気があり、今年は8月1日(月)と2日(火)の2回、内部地区市民センターで行われました。

地元の食材を使い、「地産地消の料理教室」として食育がねらいの今回の献立は

- ・お楽しみ軍艦巻き
- ・米粉のから揚げ
- ・ココアのカップケーキ

参加した子どもたちはJA 内部女性部のおばさんに教わりながら、刻んだり、焼いたり、盛り付けたり、

真剣な表情で料理を作っていました。



チャレンジデーに8,303名が参加

平成23年5月25日



5月25日(水)「チャレンジデー2011」に内部地区が参加、8,303名が何らかのスポーツ活動を行い、参加率46.13%を記録、銀賞をとることができました。

チャレンジデーとは毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントです。この日の午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の参加率(%)を競います。内部では「うつべ スター」を推進窓口として昨年参加しています。

今年は東北震災を考慮して、昨年のような対戦形式ではなく「スポーツの力で日本を元気に」のスローガンで行われ、全国103ヶ所(30市22町7村44地区)

が参加しました。

今回は記録を競うものではありませんが、参考までに順位を見るとカテゴリー3(人口10,000人～29,999人)の地域参加17地域中の6番目でした。(最高は67.7%、最低は23.7%)住民一体となってスポーツにチャレンジすることができ、ありがとうございました。

内部川の生物調べ・・・内部川探検

平成23年8月6日

第9回を迎えた内部川探検が8月6日(土)矢矧橋上流の河原で行われました。会場となった内部小学校理科室に集合の後6班に分かれて内部川へ。タモの使い方、生き物の取り方を教えてもらい、みんなで川に入り石の下や岸辺の叢を探って魚や生き物を採取しました。

どんな生き物が何匹いたかで判定する水質判定は「少し汚い」定となりました。例年と同じ判定結果でしたが、この実行委員としてこのイベントを担当してきた若林さんは「だんだんときれいになってきている」との講評でした。お昼は婦人会の皆さんが作ったカレーを頂きました。ごちそうさまでした。



このイベントは内部地区社協(内部川探検実行委員会)が主催していますが、毎回のことながら実行に際し多くの団体から支援をいただいています。

今回も四日市環境学習センターからタモやバケツ・バットなどの採集機材と、指導に当たる6名の講師の方々(小林・榊枝・横関・横井・横井・谷崎のみなさん)の動員について協力をいただきました。

内部地区婦人会にはお昼のカレー作りを、また内部っ子はげまし隊には安全見守りを、内部小学校には会場提供をしていただきました。ありがとうございました。



24 の水温でしたが中に入るとヒンヤリ



絶滅危惧種のアカザが採れました



15cmのオオヨシノボリにびっくり



教室に戻って6つの班で採った生きものをまとめます



各自の表にも黒板の結果を写します



人気のカレーはみんながお代わり、準備した50人分は空になりました

地域を守る内部交番がいよいよ完成 3月18日からスタート

平成23年3月18日



昨年12月から建設が進められてきた内部交番が完成し3月18日からスタートします。スタートに先だって3月6日地域の自治会関係者のみなさんに披露されました。

新しい交番は現在の小古曾駐在所と内部駐在所、元の河原田駐在所を統合し、管轄区域は内部地区(6890世帯・18,299人)と河原田地区(1,856世帯・4,652人)となります。

内部駐在所は昭和48年に今の場所で発足し以後38年間、また小古曾駐在所はもともと菱が丘の入口にあったものが昭和56年(57年?)に

今の位置に移り以後30年間にわたり内部の安全を守ってきました。

新しい交番は内部橋南詰めから采女が丘に向かう市道に面し、交通の便がよく目につきやすい場所に位置し、人員も6名が配置され24時間交代制で地域の安全を守る新しい体制がスタートします。



旧小古曾駐在所



旧内部駐在所

内部小三年生が「市民センター 消防団車庫」を社会見学

平成23年6月9日



6月9日(木)午前9時30分から、内部小学校3年生の生徒約90名が社会科学習「地域を調べる」のため、内部地区市民センター・消防団車庫などを見学しました。

当日は、地区市民センター1階会議室に集合後、3組に分かれて見学。特に、「消防団車庫」では、消防団の方々より説明してもらった後、実際に消防服を着せてもらったり、消防車に乗せてもらったりし、日頃できない貴重な体験をしました。そのほか、センター窓口業務の説明と見学、センター内部の説明と見学を行いました。

ホールでは卓球クラブが活動をしていましたし、団体事務局では「うつべ地区ホームページの作成」を行っているところを見学することができ、約1時間いろいろの活動の様子を興味深く学習していました。

四日市市が行っている

『市民が自主的に取組んで推進する地域社会づくりを支援する個性あるまちづくり事業』

に、内部地区から応募して助成を受けている4団体を紹介します。(この他に波木町の「NPO法人体験ひろば こどもスペース四日市」も助成を受けていますが、ここには取り上げません) また個性ある町づくりについては広報よっかいち8月上旬号に掲載されています。



冒険広場をつくる会(立ち上げ期)

代表: 山村智子

活動: 屋外での遊びやものづくりを親子で体験・共有することを通じて共に成長していく



采女が丘自治会(中級編)

代表: 河辺尚佳

活動: グリンパトロールによる団地の環境整備を通じたまちづくり



東原町自治会(立ち上げ期)

代表: 保黒時男

活動: 地域の福祉をみんなで取り組む「東原お助け隊」の設立とこれを軸とした町づくり



うつべ町かど博物館(上級編)

代表: 東川 修

活動: 地域の歴史文化の発掘・展示と地域コミュニティづくり

「季節の花で内部地区を美しいまち」にと地域の人たちのボランティア活動が行われています。今年も5月から6月にかけて下記7団体の手によって善意の花が植えられました。

植え付けは例年2回行われますが、初夏のこの時期はサルビア、マリーゴールド、ペチュニア、ベコニア、ポーチュラカ等が植えられました



東原花緑サークル

代表者 藤田末男さん

場所 東原自治会周辺



(地域ボランティア)

代表者 森下規矩夫さん

場所 内部駅前角地



(地域ボランティア)

代表者 河村照美さん

場所 旧小古曾駐在所前



花を愛する会

代表者 須藤武さん

場所 三交バス停森が山角地



采女町北部自治会

代表者 白井孝義さん

場所 内部東小入口道路沿い



花・レインボー

代表者 渡辺久子さん

場所 内部橋南詰「内部橋公園」



内部花を愛する会

代表者 芳野茂さん

場所 波木南台足見川道路沿い

安心・安全で暮せるまちづくりは、地域で活動を続けている温かい心根の人たちの「小さな善意」の地域力で支えられています。

ここで取り上げた各団体では、四日市市(花と緑いっぱい事業)、三重県(道路美化ボランティア活動)四日市商工会議所((四日市を美しくする会)から苗や堆肥・肥料などの資材の助成を受けています。

東日本大震災へ義援金 289 万円

平成 23 年 4 月 20 日



内部地区連合自治会では地区内の 20 自治会 5007 世帯に義援金の協力を呼び掛けたところ **2,894,316 円** が集まりました。内部地区連合自治会として 4 月 20 日四日市市自治会連合会経由日本赤十字社に送金しました。

各町自治会長の「地震について勉強する会」

平成 23 年 5 月 12 日



「東海・東南海・南海地震」の発生する確率が年々高まる中で、今回の東日本大震災を機に自治会長の役割を再認識し、地震について勉強してレベルアップを図ることを目的として、各町自治会長を対象とした内部地区連合自治会主催の勉強会が 5 月 12 日（木）13 時 30 分から内部地区市民センター会議室において開かれました。

平穏無事な日々であれば特段のこともなく日常の活動で過ぎてゆく地域の自治会も、今回のような大震災が起きれば、同じエリアに住む住民として助け合いながら対応を迫られることになります。そのような緊急時には各町自治会長は否応なしにリーダーとして大変重要な役割と責任が求められ、自己を犠牲にしながら多くの難題に取り組むことになります。

このような問題意識から各町自治会長の勉強会として、連合自治会長原田禮嘉さんが講師となり約 2 時間半にわたり、内部地区に即した地震の話、地震への取り組み、避難訓練のあり方について講演が行われました。



「うねめの里」で防災頭巾の贈呈式

平成 23 年 6 月 9 日

ボランティア団体「虹の会（会長田中英子さん）」が作った頭巾 300 個の贈呈式が 7 月 4 日（月）特別養護老人ホーム「うねめの里」でありました。

「うねめの里」では先の東北大震災を機に 4 月に防災訓練を行ったところ、とっさの時に体が不自由なお年寄りには机の下など安全なところに避難できない、「身を守るには防災頭巾が一番」ということが分かり、「采女の里」に介護支援ボランティアに来ている「虹の会」に防災頭巾の製作を依頼したものです。



その数は社会福祉法人「永甲会」が運営する「うねめの里」や「サクラノ園」「エビノ園」「うねめの家」他の介護施設のすべての入居者、職員用に 300 個！！ 虹の会ではメンバー約 20 名が 1 か月かけて取り組み、完成させました。

贈呈式の後早速早いキルティングの防災頭巾をかぶって、さんかわいい！と声をかけられ照れる人や、戦時中を思い出す入居者もありました。虹の会のメンバーにはお礼として障害者支援施設「エビノ園」の入居者が絵付けしたマグカップが贈られました。

内部小学校でユニークな防災学習 炊き出し体験

平成 23 年 1 月 31 日



1 月 31 日（月）内部小学校では 3 年生 98 人と保護者約 90 人が防災学習の時間に「ぼうさい・どなべ『炊き出し君』炊飯訓練」を体験しました。

広い体育館では生徒たちは 18 組に分かれて防災コーディネーター三浦ブロックの皆さんが準備したコンロに万古焼の土鍋をかけてご飯を炊き上げました。中にはお焦げのところもありましたが生徒と保護者一緒においしく炊き上がったご飯をいただきました。

お米の水浸しや炊きあがり後のむらしの時間には緊急時通報の学習や防災クイズなどを織り込むなど時間を有効に

使ったよく考えられた体験学習となりました。この日使った土鍋は、3 週間前の 1 月 9 日に四日市特産の万古焼の土鍋に子どもたちが絵付けをして焼き上げたものです。

この授業は三重防災コーディネーター三浦ブロック（代表皆川さん）が地区の防災教育・活動として企画、地元産業の万古焼土鍋と組み合わせてプログラム化し、平成 20 年から各地区の学校に呼び掛けて実施し、内部小学校は 19 校目とのことでした。

